

シリーズ

「私の林語り」
もりかた森林・林業との関わりの中で、
様々な課題に挑戦されている方
の取組を紹介します。「SDGsと花鳥風月」
かちようふうげつオンサイトテック株式会社
代表取締役社長
にしざわ ひさととも
西澤 久友

■自己紹介

昭和の時代。幼い頃は、自然の森に囲まれ、夏は農業、冬は林業。長野営林局・署の職員に同行し、狩猟期の巻狩りや、山の調査などを行いました。伐採現場では、馬による土引き丸太を転がしたりと、トビの扱いも慣れたもの。山仕事のいろは、この時に伝授してもらいました。

しかし、時代と共に世の中が急変し、大量生産大量消費が美德、環境への配慮は皆無。森は荒れ、海は汚れ、空気まで汚染。高度経済成長優先で地球の自然環境を破

壊して来たことに反省の余地はありません。後世の為に我々は、元の自然環境に戻す活動をするのが必須で、地球に恩返しをしなければなりません。「SDGsと花鳥風月」は、その代名詞。私はその想いを行動に起こします。



昭和20年代の冬の巻き狩り時の様子



昭和30年代の薪づくりの様子

■活動内容

我社は、DIYで事務机や床等、全て木でできた森林浴事務所となっています。これは、森の恵みの証として想い描いた自然の環境を具現化し、結果を残すことが私の使命と考えていたからです。

DIYで木質化した
森林浴事務所

木材の更なる活用を行うには、バイオマスだけでなく、木材から抽出されるリグニンに由来する物質の活用に注目しています。特に国内に多く植えられているスギは、「改質リグニンが抽出できて高い環境適合性を有していること」、「生分解性があり環境中に蓄積されないこと」、「製造過程で有害な揮発性有機化合物は使わずカーボンニュートラルの材料として環境問題では優位なこと」などの特徴があり、改質リグニンを世に普及することは、太陽からの恵みを頂くことに繋がります。



超小型EVモビリティカー

弊社取扱いの超小型EVモビリティカーは全て太陽の恩恵です。化石燃料製品に温存することなく

企業として避けて通れない現実を、私は信念と想いを形にし、結果を提示できるよう更に邁進していきます。

■メッセージ

SDGsを語る、それ以上に大事なことは、生活三要素の原点を見直し、その結果を出してこそ持続可能な社会の実現に繋がります。自然からのエネルギーを如何に今活用していくか、その為に自分ができることは何か、「温故知新」を形にする為の行動を起こすことを今、必要なこととして感じています。素晴らしい森と海と空気を後世に残せる行動をしましょう。共に！

○連絡先

長野支店 〒三八〇〇九二八
長野県長野市若里二丁目一四一八
TEL 〇二六―二六六―〇〇七二
本社 〒三九〇―一二九八
長野県松本市和田三九六七一〇

モバイルサイトは、以下のQRコードを読み込んでください。

